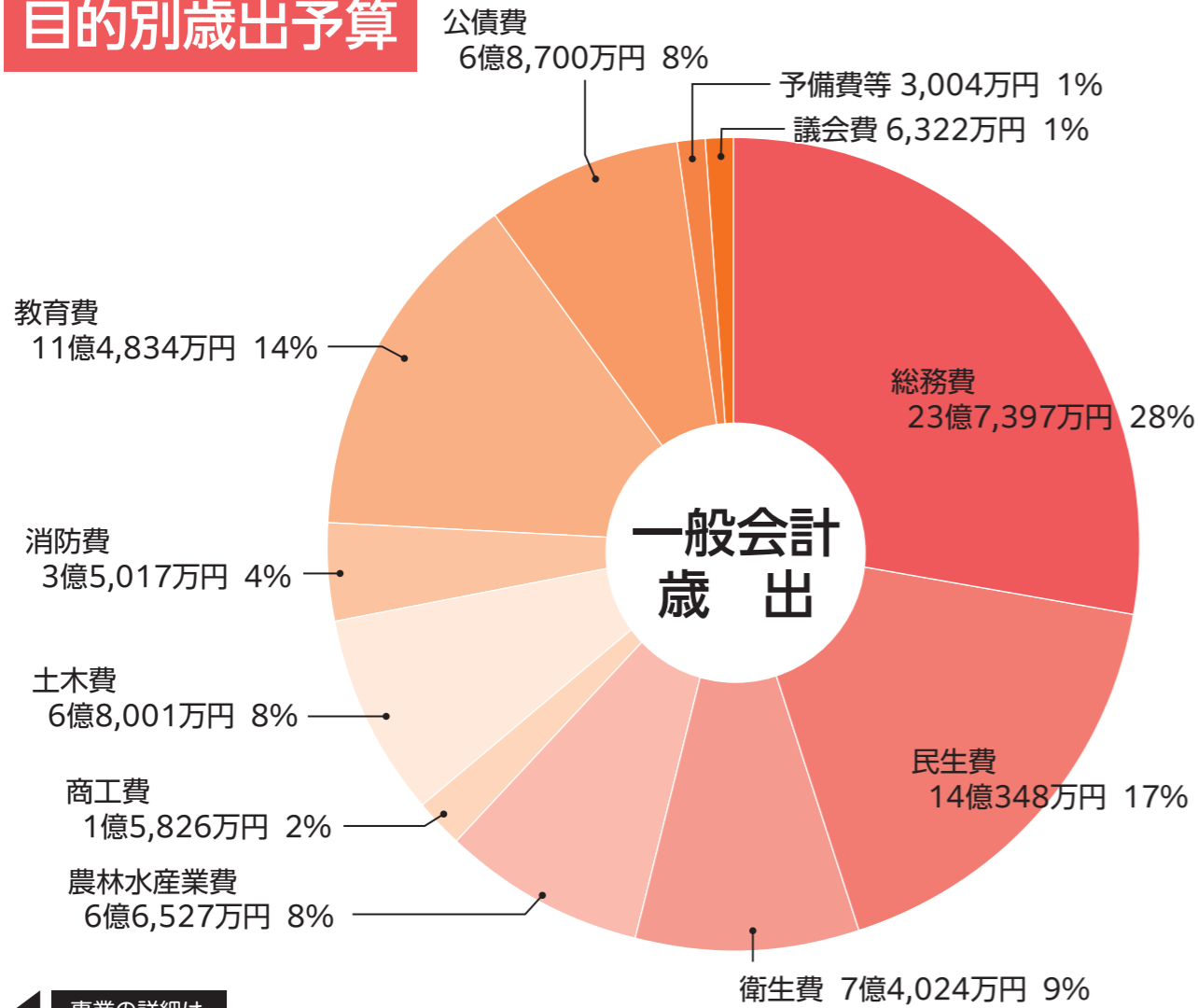


歳出 歳出では、引き続き地域活動の推進、基幹産業である農林業の振興、道路整備、防災対策、学校や子育て生活環境整備などを推進し、「[活力]をカタチに みんなの思いが 生きる つながる 広がるまち」を念頭に編成しました。

庁舎建設と学校建設に係る予算を計上したこと等により、一般会計は昨年度に引き続き過去最大の予算規模となりました。また、各施設の維持管理、修繕事業の実施なども予算の増加の要因です。引き続き、安心して住みよく、活気のあるまちづくりを進めます。

目的別予算では、庁舎建設に係る経費を含む総務費が最も多く、性質別予算では、道路等公共施設の整備に係る投資的経費に次いで人件費・扶助費・公債費といった義務的経費が多くなっています。

目的別歳出予算



事業の詳細は

次ページで紹介!



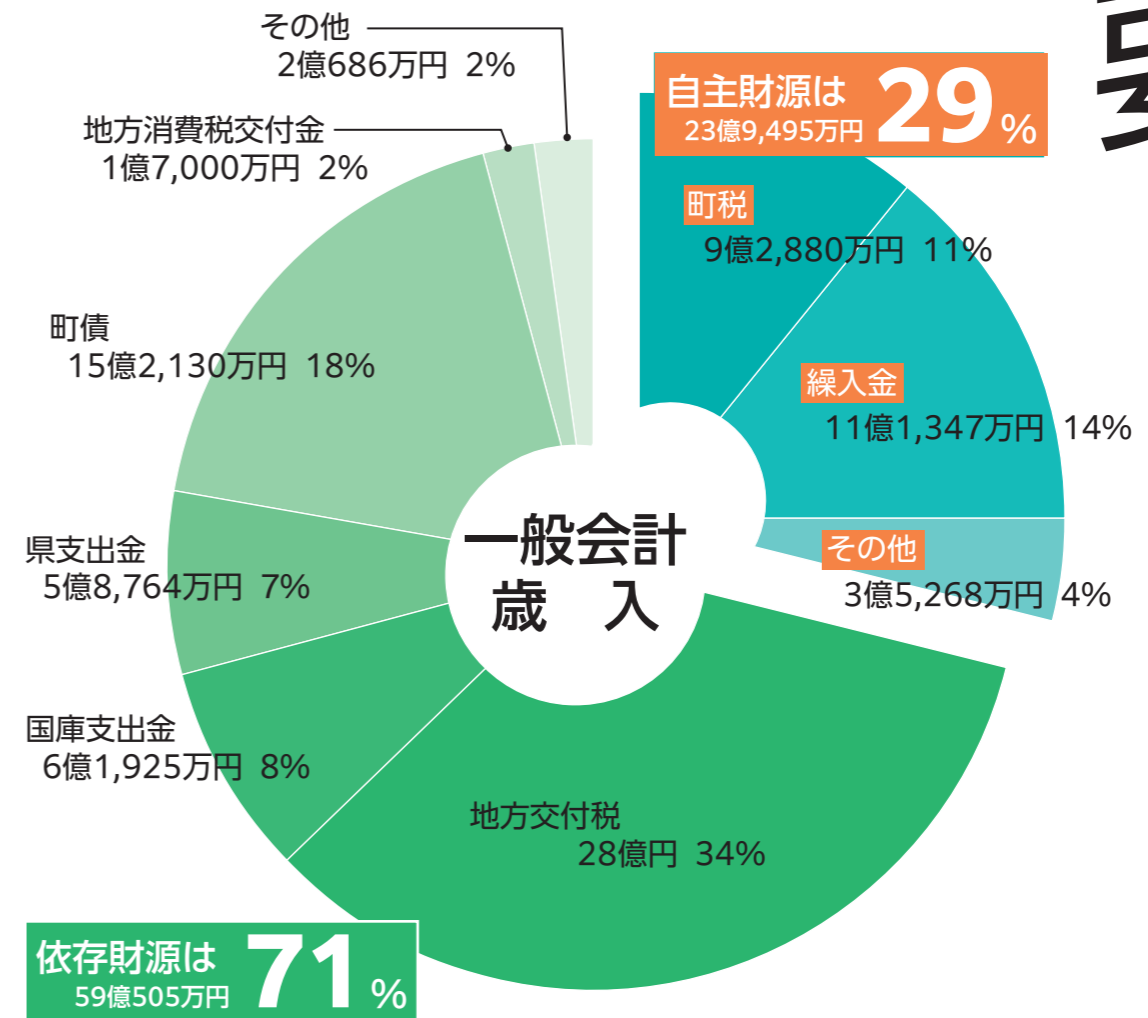
性質別一般会計

区分	金額	割合
義務的経費 人件費、扶助費、公債費	25億 3,896万円	30%
物件費 光熱水費や印刷製本費、委託料等	12億 8,914万円	15%
補助費 各種助成金、可茂消防事務組合等負担金	10億 5,102万円	13%
投資的経費 道路等公共施設の新設、改良事業	26億 4,345万円	32%
特別会計等への出資金	5億 5,118万円	7%
その他 維持修繕、積立金、出資金、予備費等	2億 2,625万円	3%
合計	83億 0,000万円	100%

予算総額は116億5,800万円

予算の概要

区分	予算額	前年度予算額	増減額	増減率	
一般会計	83億 0,000万円	76億 1,300万円	6億 8,700万円	9.0%	
特別会計	国民健康保険	9億 9,100万円	10億 1,200万円	△2,100万円	△2.1%
	地域振興券交付事業	2,000万円	4,120万円	△2,120万円	△51.5%
	介護保険	11億 6,300万円	11億 7,400万円	△1,100万円	△0.9%
	後期高齢者医療	1億 7,900万円	1億 7,650万円	250万円	1.4%
	特別会計 計	23億 5,300万円	24億 370万円	△5,070万円	△2.1%
公営企業会計〈簡易水道事業〉	10億 500万円	9億 408万円	1億 92万円	11.2%	
合計	116億 5,800万円	109億 2,078万円	7億 3,722万円	6.8%	



歳入 一般会計の歳入は、町民税や固定資産税等といった「町税」、市町村の財政力に応じて国から交付される「地方交付税」を財源の中心とし、国や県の補助金や交付金、過疎債や辺地債といった有利な起債(町の借金)をできる限り活用していきます。自主財源のうち繰入金については、庁舎建設に向けて計画的に積み立てを行ってきた基金からの繰入が中心になります。

自主財源は23億9,495万円で29%。依存財源は59億505万円71%となっています。

予算概要

予算は、年度内の歳入(収入)と歳出(支出)の計画や予定であり、施策や各種事業を進める上で欠かせないものです。
令和7年度も第6次総合計画の5本の柱にある「地域資源」「生きがい」「安全安心」「ふるさと愛」「つながり」といったキーワードを中心にまちづくりを進めます。



新規 リサイクルステーション設置事業
町内2地区にリサイクルステーションを設置し、資源の有効利用を図ります。 1,450万円

新規 災害対策用車両購入事業
災害時のトイレ利用や物資輸送・人員派遣、車中での仮眠など多目的な利用が可能な災害対策用車両を導入します。 1,136万円

拡充 庁舎整備事業
令和8年1月の開庁に向けて、新庁舎建設工事を進めていきます。 12億1,749万円



Ⅲ. 最新技術と情報を安全・安心な暮らしに活かす

新規 実践的な英語学習提供事業
音声認識技術を活用したスピーキング練習や海外校とのオンライン国際交流の実施など町内中学生に対する実践的な英語学習の機会を提供します。 195万円

新規 通学・通園支援事業
通学に使用する自転車の購入費用(中学新入生)や自家用車による通学(小・中学生)・通園(保育園児)に要する燃料費の一部を支援します。 196万円

拡充 小・中学校一貫教育推進事業
令和9年度の開校に向けて、施設一体型小・中学校の校舎建設を進めていきます。 4億6,719万円



Ⅳ. ふるさと愛を育み次世代のまちづくりに活かす

拡充 移住定住促進住宅支援事業
定住を後押しするために、新築や空き家の購入、新婚世帯や高校生以下の子育て世帯の住宅改修を支援します。令和7年度から補助率の見直しと、空き家バンク登録に向けた家財処分への補助をスタートします。 1,305万円

白川町ふるさと定着促進補助金
奨学金を返還している方で、白川町に定住の意思がある方を対象に、奨学金返還への支援をしています。今年度から補助金額を増額します。 90万円

Ⅴ. 住み続ける人、住みたい人の良さ、つながりを活かす



活カチ
カタチに
みんなの思いが
活きる つながる
広がるまち
白川町

令和7年度の
主な事業をご紹介します

令和7年度は第6次総合計画に取り組み始めて5年目です。町では総合計画のテーマ「[活力]をカタチにみんなの思いが活きる つながる 広がるまち」を実現するためにさまざまな事業を行っていきます。

ここでは総合計画の5つの柱ごとに、令和7年度の主要事業や新たな取り組みの一部をご紹介します。



新規 デジタル地域通貨ポイント交付事業
デジタル地域通貨「ShiRaCa」の活用・普及促進のため、商店回遊イベントや電子マネーチャージでのポイント付与をする事業をスタートします。 250万円

新規 茶業振興対策事業
特産品「白川茶」の振興を目指した「特産品振興センター」を設置し、白川茶存続計画の策定、茶園持続支援事業等を進めます。 2,201万円

拡充 創業・事業承継・スモールビジネスチャレンジ事業
新しく事業を始めたい、後継者に事業を引き継ぎたい、スモールスタートで事業を始めたいという様々な事業者に対応した支援を行います。 390万円



Ⅰ. 産業・経済の循環に地域資源を活かす

子育て応援給付事業
出産祝いのほか、満1歳、小学校入学、中学校入学を機に行政ポイント又は現金を支給して、育児環境の向上と子育て世帯の定住を推進します。 492万円

拡充 歯周病皆歯科健診事業
従来5年間隔の節目で実施していた歯周病健診を、毎年受診が可能な体制とします。 210万円

Ⅱ. 生きがいと活躍の場を作り、
健やかな暮らしに活かす

